

令和7年度 港北高等学校不祥事ゼロプログラムの検証結果報告

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況	達成 状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守「高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶」、服務規律の徹底）	法令違反、服務規律違反を行う職員ゼロを目標とする。	(1)職員会議、朝の打合せの時間等を活用し、教職員の倫理に関する指針を確認するとともに、指針に則った行動に努めた。 (2)校務内外において常に高い倫理観を持ち行動することに努めた。 (3)互いの声の掛け合いや、学年、グループ等との情報共有を常に留意し、小さな変化に気付ける環境づくりをすることに努めた。	A
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	パワハラ、セクハラ、マタハラ等を行う職員ゼロを目標とする。	日頃の発言、行動に注意することについて継続的に職員に呼び掛けた。また、衛生委員会等でも職場のハラスメントについて取り上げ、風通しの良い職場環境をつくるよう努めた。	B
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を行う職員ゼロを目標とする。	(1)生徒の心を傷つける言動や内容がないか、日常の指導において最新の注意を払うとともに、生徒のセクハラに対する意識啓発を行った。また、校内の相談体制についても、ポスターや啓発資料を活用し、生徒にも周知した。 (2)生徒とのSNS等の利用禁止の徹底、個別指導の際の複数対応等を心掛ける等、生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行った。 (3)ハラスメントのない職場づくりのために、行政課等作成の啓発資料を活用し、校内研修を実施した。	B
体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導を行う職員ゼロを目標とする。	生徒と教員という立場の違いや力関係について留意し、授業、特別活動、部活動指導における言動等について考えることを、啓発資料やセクハラ等のアンケート実施時に全職員で確認した。	A
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故ゼロを目標とする。	定期試験、学期末成績処理時に担当グループから全体への注意を呼び掛けるとともに、各教科等で進める成績処理においてミスが起こりにくい体制をとることで、未然防止に繋げた。入学者選抜においても、複数チェック等を徹底し、事故なく終了できた。	A
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策に係る事故ゼロを目標とする。	個人情報の取扱いについては、ICT支援員の協力を得て、民間における個人情報の取扱い、学校現場における留意点についての校内研修を実施した。	B

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況	達成状況
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、酒酔い・酒気帯び運転、交通法規違反を行う職員ゼロを目標とする。	飲酒を伴う機会が増える時期等を中心に、交通法規の遵守等の注意喚起を行った。	A
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	教職員が情報共有し、相互チェック体制・業務協力体制をとり、円滑な業務執行ができることを目標とする。	業務の偏りの改善、一人の職員が案件を抱え込まない、また、業務継続性を踏まえた協力体制づくりを常に留意した。	B
財務事務等の適正執行	財務事務等に係る事故ゼロを目標とする。	日頃の会計伝票の確認を丁寧に行うとともに、時機をみて、計画的な執行をするよう働きかけた。年度末の執行が少なくなるよう、次年度は更に先を見越した対応に留意したい。	A

※達成状況の評価区分

- A：行動計画に対して、ほぼ達成又はそれを超える状況になった。または、数値目標の80%以上だった。
- B：行動計画に対して、計画通りの状況ではないが、一定の成果が上がっている。または、数値目標の50%以上80%未満だった。
- C：行動計画に対して、計画通りの状況にはならなかった。又は、数値目標の50%未満だった。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

令和7年度の大きな事故として、校務パソコンの紛失があった。その端末を使用していた担当だけでなく、管理職はじめ職員全員が校務における当事者であることを意識し、行動することの必要性を痛感した。不適切な指導や成績処理等の事故防止は、時機に合わせて注意喚起をし、未然防止に努めた。

働き方改革が進められる中、労務管理を確実にいき、職員間の業務の不均衡を是正しながら、各担当業務を円滑に遂行できるようにしていきたい。令和7年度はグループ業務を見直すことに着手したが、継続して検証していく。